

令和2年度事業計画書

1. 基本方針

当協会は昭和61年に「栽培漁業に関する事業を行うことにより、水産資源の維持増大を図り、漁業の振興と県民生活の向上に寄与する。」ことを目的に設立され、今年で34年目を迎えることとなりました。

今年度はマダイ、アワビ、サザエ、トコブシ種苗の生産を行い、東京湾並びに相模湾への放流、漁業協同組合を始めとする水産団体への供給を行います。更に、業界の強い要望であるヒラメ種苗などの種苗を入手し放流します。

また、今年度より小網代湾内で実施していたマダイ、クロダイ種苗中間育成事業を協会の陸上施設で実施することになりました。これにより経費等の削減を図り協会の運営の改善に努めていきます。引き続き当協会の中核事業である種苗生産・放流並びに供給事業を行うことにより神奈川県の水産資源の維持増大を図ります。

そして栽培漁業と当協会の活動についての理解と協力が得られるよう、漁業者はもとより広く神奈川県民に対し、東京湾並びに相模湾の海洋環境の保全と水産資源を豊かに保つ必要性を訴えるため普及啓発活動を行います。

当協会の運営については、漁業経営の不振と遊漁者数の減少等から主な収入源である漁業者負担金や遊漁船業者等協力金は減少傾向にあり、大変厳しい状況が続いています。

一方、種苗供給数も不安定ながら県内県外の関係団体等の協力をいただき各種苗の増産を図る努力をします。特に安定したサザエ種苗及びトコブシ種苗の県外水産関係団体等に積極的に配布していきます。

また、事業の執行については、経費の見直しを行い、効率的な協会運営に努めます。

2. 事業の内容

(1) 種苗放流事業

① マダイ種苗放流事業

ア. 種苗生産尾数	(全長 20mm)	500,000 尾
イ. 放流尾数	(全長 60mm)	150,000 尾
ウ. 放流場所	東京湾域	50,000 尾
	三浦半島西岸域	50,000 尾
	西湘域	50,000 尾

② ヒラメ種苗放流事業

ア. 放流尾数	(全長 60mm)	60,000 尾
イ. 放流場所	東京湾域	20,000 尾
	三浦半島西岸域	20,000 尾
	西湘域	20,000 尾

(2) 普及啓発事業

① PR推進事業

「栽培ニュース」(2,000部/回、年2回)を作成し県内の漁業協同組合、水産団体、遊漁団体、教育及び公共機関等へ配布し当協会の広報活動を実施します。

② イベント推進事業

各地で開催される地域イベント等に参加し、漁業者はもとより広く一般県民に対して水産資源の保護、海洋環境の保全を強く訴え、栽培漁業の普及啓発を行います。

(3) 調査事業

マダイ遊漁標本船調査

県内マダイ遊漁船の中から川崎市から湯河原町までのマダイ遊漁船に標本船調査を実施する。(標本船:12隻)

(4) 種苗供給事業

① 生産供給

アワビ、サザエ、トコブシ、マダイ種苗を生産し漁業協同組合をはじめとする水産団体へ供給します。

特に、サザエ種苗を安定生産し、県外関係機関等に供給できるように取組みます。

② 斡旋供給

ヒラメ、カサゴ、メバル、トラフグなどの種苗を入手し漁業協同組合をはじめとする水産団体等へ供給します。

事業名	種苗名(サイズ)	2年度(計画)	元年度(実績)
生産供給	アワビ (5mm)	20,000 個	20,000 個
	〃 (25mm)	200,000 個	186,380 個
	〃 (30mm)	40,000 個	30,650 個
	サザエ (20mm)	300,000 個	100,000 個
	トコブシ (20mm)	70,000 個	102,000 個
	*トコブシ (大型)	20,000 個	11,164 個
	マダイ (60mm)	250,000 尾	247,000 尾
	クロダイ (60mm)	0 尾	54,200 尾
斡旋供給	ヒラメ (60mm)	250,000 尾	252,675 尾
	マコガレイ (30mm)	35,000 尾	35,000 尾
	クロダイ (60mm)	25,000 尾	0 尾
	メバル (60mm)	70,000 尾	67,000 尾
	カサゴ (60mm)	180,000 尾	176,300 尾
	トラフグ (50mm)	10,000 尾	10,000 尾
	カワハギ (50mm)	11,000 尾	11,000 尾

*養殖用種苗